

ソフトテニスの採点表（国際ルール・ダブルス）に コンピュータで所属とプレーヤーを記入する方法（その2）

—ファイルメーカーPro5.5を使って—

真 木 弘

要 旨 今まで、採点表の所属・選手名は、手書きによる記入であり、時間がかかり、読みにくいときもあった。それを解消するために、コンピュータ（ソフト ファイルメーカーPro5.5）を使用し、合理的にできるようにした。

前回ともものと比べると、背景に採点表があるので、かなり分かりやすくなった。また、プリンターの種類によって印字のずれがなくなり、設定する必要がなくなった。

1. はじめに

2000年度、本学紀要（第34号）にソフトテニス採点表にコンピュータで所属とプレーヤーを記入する方法を発表した。（Claris社製のデータベースソフトであるファイルメーカーPro4.0を使用し、ソフトテニスの国際ルール・ダブルス採点表にプリントアウトできるものを作ってみた。今まで、組合せ表ができると、手作業で、第1回戦分の対戦相手を大会前に記入してきた。だいたい40枚から50枚、多い時は、100枚くらいあった。これをこなすには、かなりの時間と労力を要した。また、大会当日の試合進行をよりスムーズにできるようになると思われる。）

しかし、実際に何度も使用して感じたこと、あるいは、使用した方からの意見では、記入する2組のペアを検索する時に、図1で項目の入ってる場所に（2ヶ所……「一般」、「4」）マウスを持って行き、データを入れなければならない。慣れていないと非常に分かりにくい。ということであった。

前回その点を指摘したが、実際に使用してみると、使い難さが、よく分かった。

今回、プログラムソフトをファイルメーカーPro5.5に変え、その点を改良し、より使い勝手のよいもの考えた。

2. 手 順

(1) ファイル設定まで

- ①コンピュータを起動させる。
- ②ソフト（ファイルメーカーPro5.5）を立ち上げる。
- ③新規ファイル作成をマークする。
- ④新規ファイルを保存する場所を設定する。（ハードディスク、あるいは、フロッピーディスク等、テニス関係という名のフォルダーを作っておく。ファイル名は、採点表作成にする。）

(2) フィールドの定義（採点表）

図2で、必要な項目選ぶ。（種別・コート番号・回戦・ペア番号・所属1・所属2・選手名1・選手名2）図3のようにフィールドの定義をする。コート番号のタイプは、テキストになっている。これは、数字を使用していないテニス場があるためである。

また、種別・コート番号・回戦については、値一覧を使用できるように設定する。その方法方法は、「ファイル」値一覧の定義をクリックする。（図4）作成をクリックする。

図6のように作成する。

値一覧を使うには、以下のようにする。表示（V）

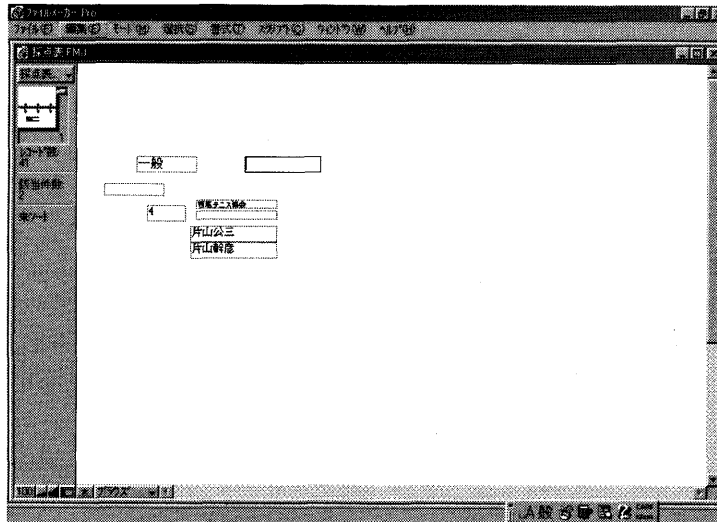


図 1

No _____ **国際ルール・ダブルス採点票**

種別	男女	第	コート	正審		副審									
				正審	副審	正審	副審								
第		回戦	開始	分	練習		練習								
		終了	分												
ペア	No 所属			ペア	No 所属										
	プレイヤー				プレイヤー										
ゲーム		サーバー	1~8ゲームは、サーバーのペアの得ポイント○か失ポイント×を記入する。 PまたはQに○				P	Q							
		ペア	ファイナルゲームは、上下に得ポイント○と失ポイント×を記入する。												
1	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
2	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
3	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
4	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
5	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
6	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
7	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
8	P : Q	*	*	*	*	*	*	—							
ファイナルゲーム	P : Q	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	—	
	P : Q	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	勝ゲーム数	
	P : Q	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	P	Q
	P : Q	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	R*	R*	S*	S*	=	
勝者番号		進行		点検		記録		得ポイント合計欄							

図 2 岡崎ソフトテニス協会

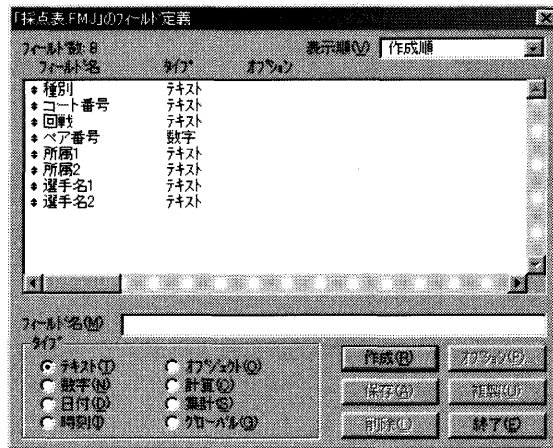


図 3

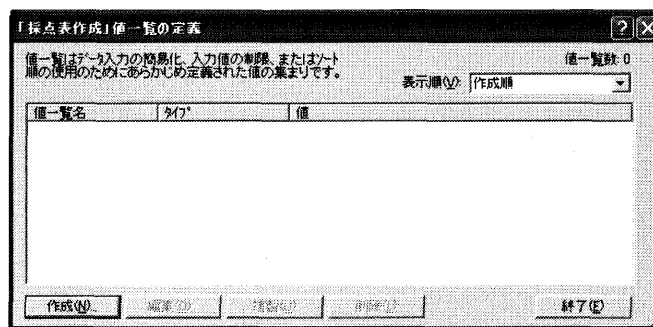


図 4

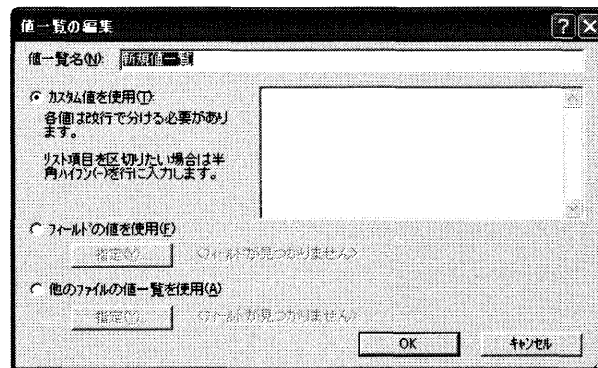


図 5

をレイアウトモード (L) にする。種別にマウスを持って行きクリックし、続いて、右クリック、「フィールドの書式」→ポップアップリスト→種別→OK

以下同じようにコート番号・回戦を設定する。

(3) データの入力 (採点表入力)

メニューバーの表示の中、レイアウトをクリックする。新規レイアウトをクリックし、レイアウト名をデータ入力とする。標準レイアウトをクリックする。

入力枠が広いので適当なサイズに直す。(修正し

たい項目をクリックし、四隅にマークが出るので、右下のところへマウスを持っていき、ドラッグしながら、サイズを決める (図7)。

次に表示 (V) でブラウザ (B) を選び、表示する。これで入力画面になる。入力したい項目の左側をクリックする。そうすると、四角黒の実線になり、他は、黒の破線になる。

必要な項目入力が終わったら、次のデータ入力を行うために、レコード (R) で、新規レコード (N) をクリックする。これをすべてのデータが入力できるまで繰り返す (図8)。

(4) プリントレイアウト (採点表印刷)

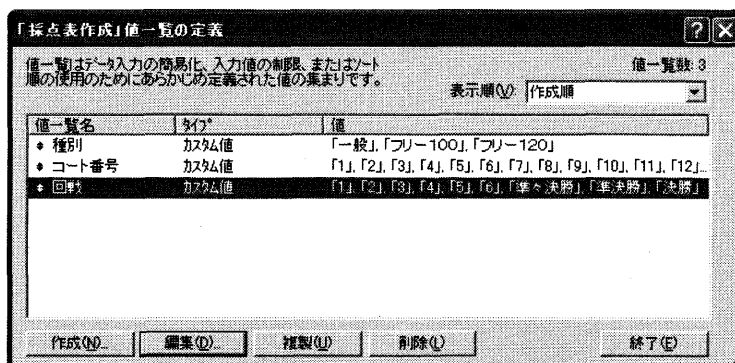


図 6

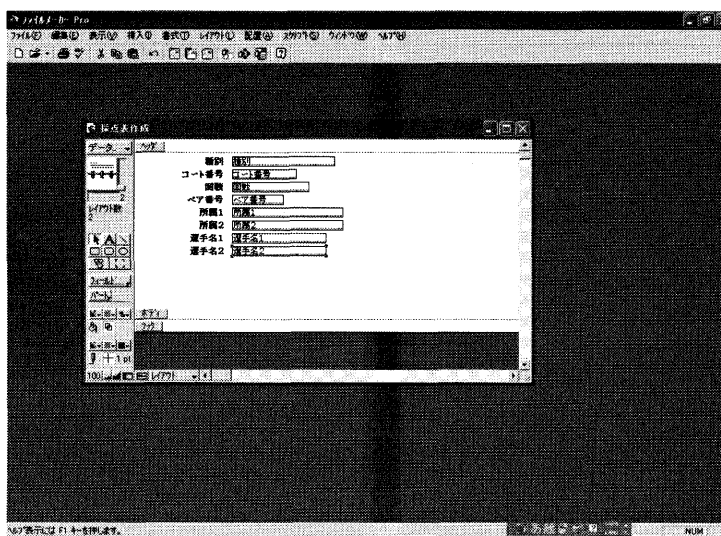


図 7

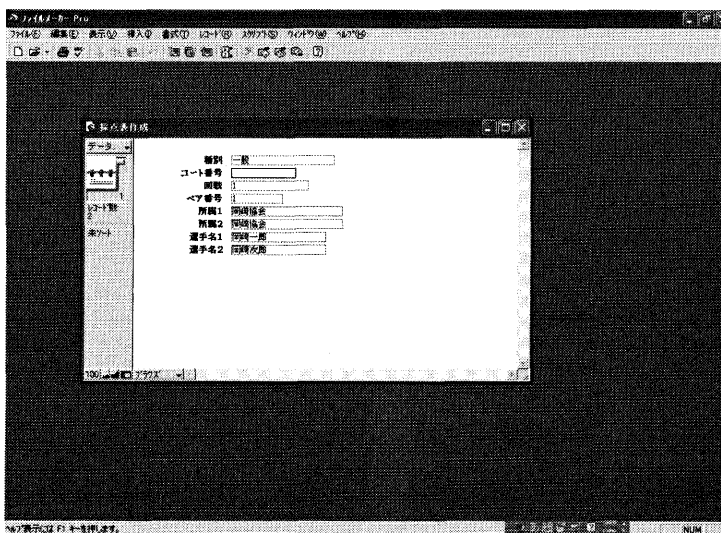


図 8

① レイアウトの作成

メニューバーの表示の中、レイアウト (L) をクリックする。新規レイアウトをクリックし、レイアウト名を印刷とする。標準レイアウトをクリックする。

レイアウト (L) をクリック、レイアウト設定 (S) をクリック。印刷オプション、プリント時の段落で二段にする。(図 9) 次に用紙設定をする。ファイル (F) でプリンタ設定のところ印刷用紙 B 5 縦にしておく。

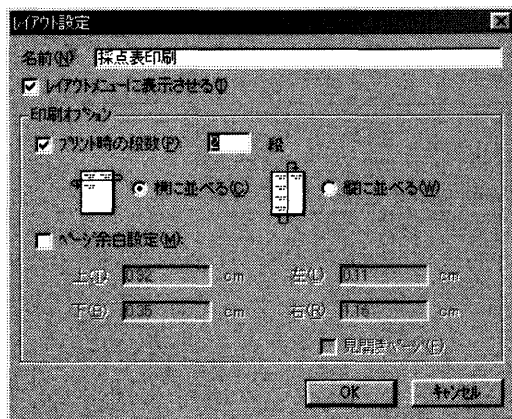


図9

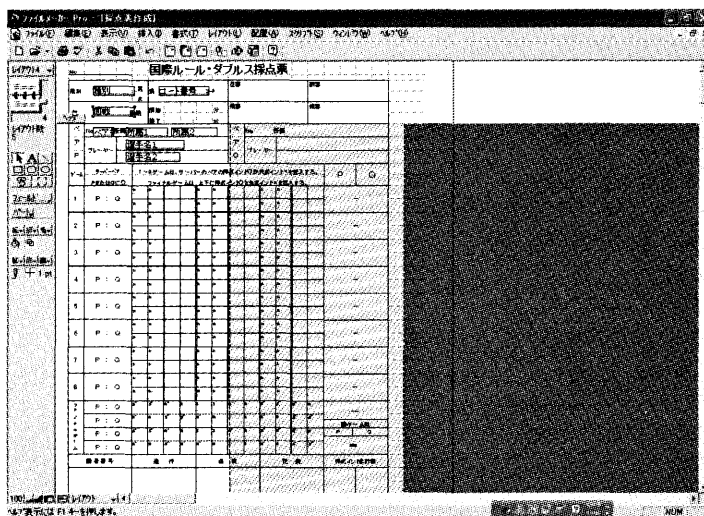


図10

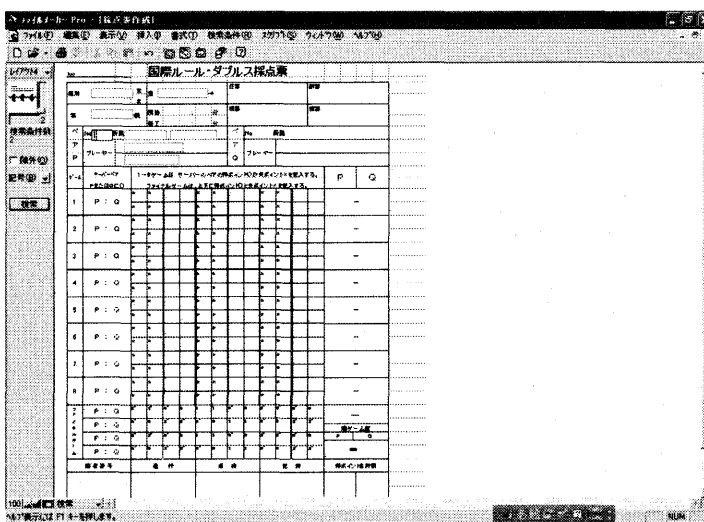


図11

図10は、今回新たに追加した部分である。エクセルで採点表を作っておき、表示 (V) → レイアウト (L) → 挿入 (I) → オブジェクト (O)

「ファイルから作成」をクリック事前に作成しておいた採点表のある場所を指定する。(図11) そう

すると、印刷レイアウトに挿入される。図10は、配置を整頓してある。また、レイアウト (L) をクリック、パート設定 (A) をクリック、フッタを削除しておく。採点用紙全体が印刷できない。ヘッダの位置は、「No. 所属」の上のラインに合わせる。

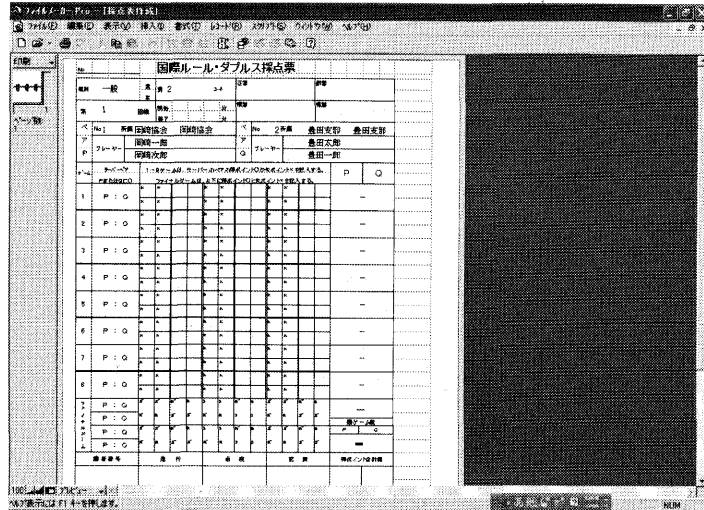


図12

No. _____ 国際ルール・ダブルス採点票															
種別	一般	男	第2	コート	正審							副審			
		女													
第 1	回戦		開始	分	終了	分	練習			練習					
ベ	No.1 所属		岡崎協会		岡崎協会		ベ	No. 2 所属		豊田支部 豊田支部					
ア	プレーヤー		岡崎一郎		岡崎次郎		ア	プレーヤー		豊田太郎					
Q							Q			豊田一郎					
ゲーム	サーブ	ヘア	1~8ゲームは、サーブのベアの得点〇か失点×を記入する。								P	Q			
	PまたはQに〇		ファイナルゲームは、上下に得点〇と失点×を記入する。												
1	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
2	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
3	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
4	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
5	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
6	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
7	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
8	P	Q	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—			
ファイナルゲーム	P	Q	S*	S*	R*	R	S	S	R*	R	S*	S*	R*	R	—
	P	Q	R*	R	S*	S*	R*	R	S	S	R*	R	S*	S*	勝ゲーム数
	P	Q	S*	S*	R*	R	S	S	R*	R	S*	S*	R*	R	P
	P	Q	R*	R	S*	S*	R*	R	S	S	R*	R	S*	S*	Q
勝者番号	進行		点検		記録		得ポイント合計欄								

図13

②検索する2組を選ぶ。
 レイアウトで「印刷」にする。表示(V)検索モード(F)にする。検索条件(R)をクリック。新規検索条件(N)で選手番号を入力する。二回目は、検索条件(R)で検索条件複製(F)をクリック。選手番号を入力する。左にある検索をクリック。
 ③ヘッダを入力
 コートNo.、回戦を入力する。これで、データを

印刷する準備ができた。値一覧表を利用すれば、早く入力できる。
 ④印刷をする。
 表示(V)→プレビューモード(P)で見たものが、図12である。ファイルメニューバーでファイル→印刷をし、完成したものが、図13である。

3. まとめ

前回と比べると、かなり入力がやりやすくなった。採点表のとおりに入力ができるため、戸惑うこともなく、簡単にその項目にマウスを持っていける。ファイルメーカー4.0と5.5では、メニューバーの項目が少し、変更になっており、初めのうちは、かなり戸惑った。

これを使用すれば、かなり、効率よく、入力ができ、またきれいにプリントできるので、試合進行がスムーズに行く。

前回のものであると、プリンターの機種によって少しではあるが、印刷がずれた。そのため調整する必要があったが、今回は、全くその必要がなくなった。

来年4月より、ルール変更が10年ぶりに行われる。それに伴い採点表も変わるようである。早めに新しい採点表を手に入れ、対応を考えなくてはいけない。また、ファイルメーカー6.0にバージョンアップしているので、その対応もしていかなくてはいけない。

【参考図書】

- ・野沢直樹著、「ファイルメーカー5.5スーパーテクニック」、ソーテック社、2001
- ・小山香織著、「ファイルメーカーPro5.0 for Windows パワーアップブック」、オーム社、2000
- ・矢沢敦臣著、「いきなりファイルメーカーPro5.5」、ローカス、2001
- ・木下雄一郎著、「ファイルメーカーProによるシステム構築—for Windows & Mac」、アスキー、2001
- ・日本ソフトテニス連盟、「ソフトテニス指導教本」大修館書店、1955